

2019年第2回千葉大学化学教育研究懇談会

2019年第2回化学教育研究懇談会を下記の要領で開催いたします。新進気鋭の先生方の研究成果を紹介していただきますので、ぜひご参加下さいますようお願い申し上げます。

今回は、様々な物性が多くの人々の興味を引き付けている Au ナノ粒子に関するお話と学生の興味関心を重視した研究テーマ設定と研究実践による高大連携の新しい可能性などについて、身の回りの化学的なトピックスを中心に森田 剛先生と林 英子先生に研究成果を紹介していただきます。先端化学から教材開発にかかわる内容など多岐にわたる今回のご講演は、多くの異なる専門分野の研究者や学校における生徒学生への指導にも役立つものと思われまふ。また、講演後簡単な懇親会を準備しておりますのでこちらにも是非ご参加下さい。

記

日時： 2019年12月6日(金) 17:00～18:30 頃 講演会
18:30 頃～20:00 懇親会 (会費 500 円)

場所： 千葉大学西千葉キャンパス 工学部5号棟105講義室

懇親会工学系総合研究棟1 2階第1会議室

(次ページの地図を参照 南門の近くです)

<プログラム>

1. 17:05～17:45 森田 剛 准教授 (千葉大学大学院理学研究院)

「金のナノ粒子の集合状態を考える」

金はナノサイズになると黄金色と異なり、ワインレッドを示したり、集合すると青色に変わるなど、様々な色調の変化を見せます。この変化はナノセンシングなどに広く用いられています。集合状態のポテンシャル関数による考察や、集合による合金ナノ粒子の形成について紹介します。

2. 17:45～18:25 林 英子 准教授 (千葉大学教育学部)

「学生の発想を取り入れた、教育学部化学研究室の教材開発系の卒論・修論のテーマ設定と研究」

教育学部に二つある化学研究室の一つでは、学生の希望により、教材開発の卒論・修論も行っている。学生の自由な発想を元にして、教員も共同研究者として学生と初めての内容について試行錯誤を繰り返しながら進めている。例として、化学の専門家では取りかかるはずの無い「ボルタの電池の亜鉛の溶解反応の可視化」、最初のテーマに行き詰まり少し方向転換して始めた「非水溶媒からの金属ナトリウムの析出教材」、「消しゴムの成分からの色素の合成」などを研究過程を含めて紹介する。

講演時間には質疑応答も含む

参加申込締切日： 2019年12月2日(月)

参加申し込み方法： 以下の情報を上川まで E-mail(uekawa@faculty.chiba-u.jp)にてお送り下さい。

- ・お名前・学校名
- ・交通費支給希望の有無
- ・懇親会参加の有・無 (会費は 500 円です。)

担当者：

千葉大学大学院工学研究院共生応用化学コース
日本化学会関東支部幹事

上川 直文

E-mail: uekawa@faculty.chiba-u.jp

TEL&FAX: 043-290-3373

以上

交通アクセス

JR 総武線 西千葉駅下車3分 もしくは 京成線 みどり台駅下車10分

